

境の夏



山崎煙火製造所

Photographer Yuhei Ueda



野村花火工業

Photographer Hiroki Oka



紅屋青木煙火店

Photographer Yuhei Ueda



マルゴー

Photographer Hiroki Oka

夢のコラボ実現

夜空を彩った

23000発

～ 境の夜空を彩った内閣総理大臣賞受賞の巨匠たち ～



マルゴー

代表取締役社長 齊木 智

境町の花火大会に初めて呼んでいただき感謝しています。当社の強みである花火の色鮮やかさや明るさ、そして色の動きや変化を観客の皆さんに楽しんでもらえるように精一杯演出を心掛けました。今後も、日本だけでなく海外の方にも楽しんでもらえるような花火を作り続けていきたいです。



紅屋青木煙火店

代表取締役 青木 昭夫

日本の伝統と最先端技術を融合した演出を行い「芸術として認められる花火」を目指して取り組んでいます。今年はクィーンの曲に合わせて、音楽と花火が完全にコラボレーションし、新たなアートとしての音楽花火を追い求めました。今後も、スピーディーで迫力ある花火を仕上げていきたいと思ひます。



野村花火工業

代表取締役 野村 陽一

境町の花火では、起承転結を意識し、音楽に合わせて、リズムカルに花火を打ち上げることができました。また、様々な種類の花火を打ち上げることで、来場者を飽きさせないような演出を行いました。まだまだ自分では理想とする花火には及んでいないので、今後もさらに上を目指して努力していきたいです。



山崎煙火製造所

代表取締役 山崎 芳男

今年は昨年の3社から1社増えて、4社の花火師による競演で花火を打ち上げました。来場したお客さんにも、ボリューム・内容共に昨年を超える迫力で花火を楽しんでもらえたのではないかと思っています。特に6,000発を使用した大迫力のフィナーレは、お客さんからも大変好評を得ています。



打上開始ボタンを押す橋本町長、野口観光協会長、石川実行委員長と海外からの来賓の皆さん



花火大会に華をそえたミス・マリキナのルイさん



あいさつをする友好交流都市ハワイ州ホノルル市のマーティン前議長



あいさつをする姉妹都市フィリピン共和国マリキナ市のテオドロ市長



多くの来場者が境町の花火を楽しみました



今年も最高の花火でした！

観覧者数は過去最高の **25万人**

全国の人気花火大会ランキング第 **10位!!**
(ウォーカープラス全国花火大会花火カレンダー 2019より / 6月20日時点)

花火の打ち上げ数全国 **5位 (23,000発)**
(ウォーカープラス全国花火大会花火カレンダー 2019より / 7月3日時点)

昨年の反省点を改善し、より質の高い花火大会へ進化しました

〈花火の改善〉

- 花火師を3社 → 4社に増やし、4大花火師による大迫力のスーパースターマインの競演を実現
- 打上発数を22,800発 → 23,000発に増やし、過去最多の打ち上げ数に
- 音楽花火を約8割に増やし、より感動的な花火大会に

〈大会運営の改善〉

- 臨時バスを運行し、公共交通でも来場できる花火大会に
- 時差退出の徹底やスムーズな誘導で、帰宅時の混雑を大幅軽減

より良い花火大会を目指し、何度も協議を重ねられました。

第34回 利根川大花火大会

有名花火師4社のコラボで今年も盛大に開催

7月13日(土)、利根川河川敷において、「第34回利根川大花火大会」が開催されました。

今年は、花火師を昨年の3社から4社に増やし、4大花火師による夢のコラボレーションが実現しました。打上発数も過去最高となる2万3千発で、全国5位の規模の花火大会となりました。当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、花火が打ち上げられると観覧席から大きな歓声が上がり、雨にも負けない感動が会場全体を包んでいました。

花火の打ち上げ前には、町と友好関係にある海外からの来賓の皆さんと共にオープニングセレモニーが行われ、ホノルル市のマーティン前議長、マリキナ市のテオドロ市長より町への感謝の言葉が述べられました。今年の花火大会では、国際交流の一環として、友好関係にあるハワイ州ホノルル市、フィリピン共和国マリキナ市、アルゼンチン共和国をイメージした音楽花火も打ち上げられました。

また、例年、大変な混雑が起きていた花火大会終了後の会場からの退出についても、昨年の反省を生かし、時差退出の徹底やスムーズな誘導によって、混雑を大幅に軽減することができました。